

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援センター スマイルはりま		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援プログラムや放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されている。	・個別支援計画に沿った個別のプログラムを考え、個室で集中して取り組めるようにしています。 ・プログラムが固定化しないよう、季節の行事を取り入れて工夫している。	支援員と保護者との情報共有に努め、子ども一人一人の課題に適した支援計画を作成していきます。
2	こどもは安心感をもって通所している。	・毎日笑顔で出迎え、こどもの思いや考えを否定せずには受け入れるよう意識して接している。 ・集団活動に参加しにくい子に対して、職員と一緒に見学する、などの対応をし、無理のないようにしている。	不安感のあるこどもに対しては個別に相談する機会を設け、安心して過ごせるよう考えていきます。
3	事業所の支援に満足している。	・長期休暇中は外出や事業所内でおにぎり作りなどを行い楽しんでもらえるよう取り組んでいる。	これからも保護者のニーズを把握し、よりよい支援をめざしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園、または放課後児童クラブや児童館との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会があるか。	活動中に交流の機会を設ける事が困難なため。	交流の機会につなげていけるよう、担当者会議などの折に、保育所や学校の先生とコミュニケーションを取るようになっていきます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	未就学児の保護者に対してはペアレント・トレーニングを行っているが、保護者間の交流の機会は少ない。	放課後等デイサービスの保護者、未就学児の保護者ともにペアレント・トレーニングの内容や様子、などの情報提供を行っていきます。
3	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	個室など部屋を増やすことは難しい。	パーティションなども使用しながら、安全に行える支援スペースの確保を行っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども支援センター スマイルはりま

公表日 2026 年 1 月 9 日

利用児童数 19

回収数 16

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	81%	13%		6%	適切な広さですが、もう少し広くても良いかなと思います。	今後も引き続きシンプルな環境作りを行い、支援スペースの確保を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	81%			19%	いつも何人かの先生を見るので十分配置されていると思います。	引き続き、活動内容に応じた人員配置を行っていきます。職員は10名の定員に対して必ず5名以上配置するようにしています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	88%	12%			分かりやすい環境だと思います。	室内に段差はなく、活動に集中しやすくする為にできる限りシンプルな環境作りを心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	88%	6%		6%	清潔で活動しやすい空間になっていると思います。部屋が狭くなることを考えてなのか、椅子を机代わりに使用していることが気になります。	ウイルス感染対策も引き続き行い、共有して遊んだ玩具についても消毒を行っています。テーブルを設置しおやつを食べるようにしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				個別の言語の時間がもう少しあると助かるのですが様々なことが体験出来てありがたいです。	児童発達支援計画に基づいて支援を行い、1人1人に合った支援方法を職員間で話し合って実施するようにしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	88%	6%		6%		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				面談して下さって現状を理解された上で計画して下さっています。	ご意見を参考により支援に満足していただけよう、今後もつとめていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	88%			12%	支援に必要な項目と具体的な内容が設定されています。	今後も必要な項目と具体的な支援内容を設定し、支援に繋げていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88%	12%			個別のフィードバックが毎回ある訳ではないので具体的な様子は少し分かりにくい。コドモンであつたら嬉しい。	送迎時などで今日出来たことなどをフィードバックさせて頂いています。他の保護者の方も送迎に来られるため、長時間のフィードバックは難しく、そういった場合はコドモンや電話での連絡をさせて頂きます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94%			6%	毎月違った活動を取り入れて下さって工夫されています。	支援につながるよう、週ごとにプログラムを変更しています。
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	19%		25%	56%	そのような活動を見たことがないです。	現状、交流などは開催されていませんが、今後必要があれば検討し、対応していきます。
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	88%			12%	ペアレントトレーニングや保護者の交流などの機会を提供して頂いています。	家族支援プログラム開催の際は、前もってお知らせをし、参加の機会を提供しています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	94%			6%	毎回先生から個別でその日の様子を報告して下さるので、家庭でのこともお話ができて共通理解ができています。	送迎時にその日の様子や課題への取り組みについてお伝えするようにしています。ご家庭での様子についても送迎時などに情報共有させて頂いています。保育所への送迎をする場合は、コドモンや電話を通してお伝えするようにし、園の先生ともその日の様子を共有させて頂きたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96%	6%			面談があるので助言等をして頂いています。	定期的に面談を行い、事業所での様子、ご自宅での様子などを共有しています。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%						

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	69%		6%	25%	茶話会や夏祭りなど家族で参加できるイベントを開催して下さって楽しめています。	毎年、年一回の茶話会を実施しています。今年度もご家族を招待し、夏祭りを実施し、冬にはクリスマス会も実施予定です。今後も継続していきたいと思いますので、お父さんお母さん、ご兄弟も参加していただけたらと思います。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	75%	6%		19%	職員の方によって、対応は違うと思いますが、子どもの事の困り事については考えて話している為、もう少し寄り添って答えて頂けたらと思います。	悩みや相談については、必要に応じて電話や個別懇談の日を設け、解決に向けてできる限りサポートができるように努めています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					コドモンで効率よく情報を受けたり、連絡できるシステムになっていてやりやすいです。	これからも、状況に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通が出来るように努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	94%			6%	毎回、コドモンでその日の活動内容や写真も発信してくださったり、毎月の予定が明確になっていて安心です。	月一回の園便りと、毎日の療育の内容をコドモンを通して療育の様子をお伝えしています。また、Instagramでの発信も行予定です。自己評価の結果についてはインターネットで公表していません。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%			6%	どのように保管されているのかわかりません。	個人情報に記載されている書類等は書庫に保管しています。廃棄書類等はゴミ箱ではなく必ずシュレッダーを使用して廃棄しています。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75%		6%	19%			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	94%			6%	避難訓練をよく実施されていて安心できます。	定期的に火災、地震、不審者侵入、発作対応などの避難訓練を行い、避難場所まで実際に避難をする練習を行っています。避難訓練の前には状況に応じた避難の仕方や身を守る方法を伝えていきます。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	81%	6%		13%			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	81%			19%	その状況に当たっていないので、わかりません。	事故やケガなどが発生しました際には迅速にご連絡させていただきます。園の先生への報告もしていきます。	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	94%			6%			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	81%	19%			スマイルに行くよと言ったら嬉しそうに玄関へ行きます。	これからも、「楽しかった」と思って頂けるように支援・活動を行っていきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	6%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年1月9日				
子ども支援センタースマイルはりま						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	活動に応じて、児童が利用するスペースを分けています。	必要とする子どもが重なった場合やクールダウンにもう一部屋あればなおよいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	必要に応じて職員を増やし調整対応しています。	曜日によるが、1対1や個室部屋を必要とする場合等で足りていない時もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	視覚的構造化、手順書を各所に取り入れています。洗面所やトイレなど必要に応じて踏み台を使用できる設備になっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の掃除やアルコール消毒を徹底しています。また、子どもたちの活動に合わせてスペースを分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個室としても使用できる空間を用意しています。	個別の部屋はあり、利用もしているが、必要とする子どもが重なった場合やクールダウンにもう一部屋あればなおよいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	業務・支援を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的に評価表にてご意見を頂き、評価頂いた内容は、職員間で把握する機会を設けています。必要に応じて改善策を話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	去年11月より民間による外部評価の機会を設けています。	今後も業務改善につなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	オンライン研修も活用しながら、積極的に研修に参加しています。事業所内研修も定期的開催しています。	法人内だけでなく、法人外の勉強会や研修会などにも参加出来たらいいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	都度支援プログラムを工夫し、HPや毎月発行している便りにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画は職員に共有されており、当日支援前にて支援内容の確認を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	保護者の方には連絡ツール(コドモン)、職員間では支援記録を日々作成しており、常に状況が確認出来るようにしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	定期的なアセスメントを行ったうえで、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動プログラムは職員のアイデアを取り入れ、準備等を分担することでチームで作りに上げるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	子どもの特性や状況に応じて、みんなにとって有益になるようなプログラムを提供しています。季節を感じられる工夫もしています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子どもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	その日の支援内容や役割分担について確認する機会を設け、利用者の状況や変化を職員全員が把握できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	送迎終了後に職員で保護者からの連絡事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、情報交換を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	職員間で共有したことを基に、利用者個人の支援記録を毎日作成しモニタリング等に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に一度のモニタリングを実施し見直しを行っています。保護者に対しては出来るだけ面談を実施し、学校や他事業所での様子を共有しながら利用者の全体像把握に努めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が基本的には参加しており、会議の前には職員間で情報共有してから会議に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	利用者のかかりつけの医療機関は契約時にお伺いしています。また、事業所と近隣の医療機関で提携し、体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	併行利用や移行の際は、保護者や関係機関と情報共有しながら、その内容を支援に取り入れるようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	必要に応じて、関係機関と情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		今後必要があれば検討し、対応していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		今後必要があれば検討し、対応していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡ツール（コドモン）で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	家族支援プログラム開催の際は、前もってお知らせをし、参加の機会を提供しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に運営規程や支援プログラム、利用者負担額等について説明を行い、質問等があればその場で答えています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	契約時に本人や保護者の方のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えています。また、面談時に新たなニーズがあれば、都度それに合った支援を考えています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいた上で署名を頂いています。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要に応じて面談だけでなく、電話等でも相談を受け付けており、支援方法などの提案をしています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	茶話会などで保護者同士の交流の場を設けています。また、行事等では家族みなさんで参加して頂き、父母だけでなく兄弟同士の交流の機会にもなっています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適正な対応が出来るよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	連絡ツール（コドモン）や毎月発行している便りにて情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報が記載されている書類等は書庫に保管しています。廃棄書類等はゴミ箱ではなく必ずシュレッダーを使用して廃棄しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	状況に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通が出来るように努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		今後保護者からの要望があれば、検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルは策定しており、定期的に研修も行っています。マニュアルは全職員がいつでも閲覧出来るような位置に置いています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPは策定しており、定期的に避難訓練も実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	薬等の必要な子どもの保護者より、状況を共有し確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーのある利用者と対象物がすぐ把握できるよう掲示して職員間で周知しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	事案が起こった際ヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い周知に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	身体拘束等禁止適性委員会を設置し、指針や規程を整備しマニュアルを作成しています。保護者に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載しています。		